

# 丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会

## 第6回合同会議 会議録

日時	平成25年 1月31日(木) 午後7時から午後8時まで
会場	丸山公民館 2階大会議室
出席委員	丸山地区21名 和田地区22名
欠席	折原委員、八代委員、笹子委員
傍聴人	なし

1. 開会
2. 検討委員長挨拶  
(和田地区委員長)

昨年の暮れに小学校の再編について皆様の意見が深まりまして、方向性が決まったわけでございます。本日は校名案の決定と意見具申等についての審議がございますので、よろしく申し上げます。

3. 教育長挨拶

本日、校名等の提案があるかと思いますが、よろしく御審議をお願い申し上げます。

4. 報告等

事務局 次第の4の報告等として、前回の第5回検討委員会の内容について報告させていただき、その後に配付資料の確認をさせていただきます。第5回の学校再編検討委員会を平成24年12月19日に行い、この時の出席委員は、丸山地区22名と和田地区23名となっております。

議題に入る前に、それぞれの専門部会から検討状況を報告していただきました。校名部会については、校名の募集中であり1月10日が締切りになっているとの報告でした。通学支援部会については、和田地区の小中学校の児童生徒の分布図を作成し、検討を進めていくとの報告でした。校歌・校章部会については、校歌と校章は新しく作成する方向で検討するとの報告でした。学用品部会については、制服・ジャージ・体操服及び上履きは平成26年度から新しいものに統一する方向で検討するとのことで、制服については、保護者アンケートを行うとの報告でした。PTA部会については、各学校の規約を読み合わせ、確認した上で教頭先生にすり合わせをしていただき、進めていくとの報告でした。行事部会とカリキュラム部会については、これらを細分化して「行事」「カリキュラム」「きまり」「部活動」の大きく4つに分けて検討を進めていくとの

報告でした。

次に、議題の第1号として「専門部会協議事項について」、各部会からの案件について協議していただきました。まず、学用品部会から制服・ジャージ・体操服及び上履きについて、平成26年度から新しいものに統一することの案件があり、承認されております。次に、校歌・校章部会から校歌・校章を新しく作成することの案件があり、承認されております。次に、カリキュラム部会から教科教室及びホームページが足りないことについての案件がありました。これにつきましては、恒久的な不足ではないことなどから、今あるもののスペースを十分工夫して使うなど、今後、教育委員会と学校とで協議・検討していくこととなっております。次に、通学支援部会から花園方面と北三原方面からそれぞれ1本ずつスクールバスを運行することの要望がありました。これにつきましては、検討を要するため、保留となっております。

続いて、議題の第2号として「統合幼稚園・小学校の位置について」検討していただきました。4か所で行った地区説明会の会議録を第4回会議で配付させていただいておりますので、その内容を踏まえた上での御意見をいただいております。地区説明会では、校舎建設場所の海拔を15m以上としていることについて、不安があるとの御意見が複数あったため、これについて検討していただきました。いろいろ御意見はありましたが、結果的に検討委員会としての見解は、15m以上の場所であれば安全であるとの共通理解がなされております。次に、各PTAで行ったアンケート調査の概要について、お話しをいただきました。4校からの要望としては、海拔15mを基にできるだけ安全な場所、高い場所に早く建設してほしいということ、また建設候補地をなるべく早く知りたいということでした。事務局からは、アンケート調査の結果等も踏まえた上で、具体的な場所について提案させていただくこととお話しさせていただいております。

報告は以上となりますが、委員の皆様には前回の会議録を事前に送付させていただきましたので、本日の会議にて御承認をいただき、市のホームページに会議録を掲載したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

続いて、事前配付資料の確認、本日配付資料として資料1「専門部会検討状況報告」、資料2「新中学校名応募一覧」、資料3「丸山地区及び和田地区の学校再編に係る意見具申の提出について」の配付確認。

質疑等特になし。

事務局

次に、専門部会検討状況報告についてですが、前回の検討委員会で報告された以降の、現時点までの検討状況について報告をお願いします。校名部会からお願いします。

委員 校名部会ですが、この後の校名を決定する議題に入っておりますので、概要だけをお話ししたいと思います。1月10日に公募を締め切り、207名の方から123点の作品が寄せられました。その中から良いと思われるものを14点出していただき、さらに7点に絞り、最後に3点に絞る作業をしました。資料にあるように、「南房総市立嶺南（れいなん）中学校」、「南房総市立花南（かなん）中学校」、「南房総市立第一（だいいち）中学校」を最終的にこの3点が絞られまして、その中で「南房総市立嶺南中学校」が校名部会の案としては最適ではないかという結論に達しまして、今日これから御審議をお願いします。

委員 通学支援部会ですが、12月以降は会議が持てませんでした。これから検討を進めて、要望を出していく再案についてお話しを進めていきたいと考えています。また決まり次第、御報告したいと思います。

委員 学用品部会ですが、まず、制服については、アンケート調査を2月4日（月）から2月8日（金）まで行い、アンケート調査の対象は、小学1年生から小学5年生までの児童のいる家庭とする。アンケート調査は、女子制服のデザインを選択する内容とする。アンケート調査の結果を中学校側に要望として提出し、その後は、学校側で検討してもらうということになりました。次に、ジャージ・体操服及び上履きについてですが、こちらも学校側で検討してもらうということになりました。理由として、制服、ジャージ、体操服及び上履きについては、校風をイメージし、かつ、生徒らしい簡素な身なりで、落ち着いた学習環境を保つことが望ましい。特に制服については、日常での手入れのしやすさなどを含め、経済的負担を軽減し、またジャージ・体操服及び上履きについては、学年による色分けや動きやすさなど、授業等での指導のしやすさという観点からも検討する必要がある。そのため、教育現場で直接生徒たちに関わる先生方に、これまでの経験や知識を生かして検討していただいた方が、より良い生活ができると考え、両中学校と協議し、学校側で検討してもらうこととしました。次回の会議では、アンケート調査の取りまとめ及び要望書の作成と制服、ジャージ、体操服及び上履き以外で統一するものの拾い出しを行うことになっていきます。協議事項としまして、制服については、アンケート調査までを学用品部会で行い、その結果を要望として学校側に提出し、学校側で決めてもらうこと。アンケート調査票は別紙のとおりとすること。アンケート調査の対象は、丸小、南小、南三原小、和田小の小学1年生から小学5年生の児童のいる家庭とすること。アンケート調査の時期は2月4日（月）から2月8日（金）までとし、各学校にアンケート調査票の配布や回収を依頼すること。ジャージ、体操服及び上履きの決定について、学校側で決めてもらうこととしてありますが、これについては、後ほど協議をお願いしたいと思います。

委員 校歌・校章部会は特にありません。

委員 P T A部会です。新中学校会則・教育活動後援会会則の作成について。前回、両中学校の教頭先生に素案作成を依頼し、完成した書類を確認しました。いくつかの訂正を行い、部会内での会則の素案を了承しました。今後、年間行事、予算等の確認作業を行い、検討委員会へ上程する予定となっています。

委員 行事・カリキュラム部会です。まず、「カリキュラム」ですが、丸山中・和田中の1年生で合同授業をしようということで2月7日に実施いたします。来年度の総合的な学習については、丸山中・和田中で同じ曜日と時間帯で設定したいと思っております。あと、1年・2年は同じ曜日と時間帯で設定したいと考えております。次に、修学旅行の日にはちですが、今年度中に丸山中と和田中で揃えます。すでに両校で宿は予約してありますが、期日が違いますので、そのすり合わせをしたいと思っております。交流行事についても新年度早々に計画し、何度か行っていきたい。生徒会についても後期の役員が10月に決定しますので、新役員に変わりましたら規約などを考えたいと思います。新1年生ですが、2年生になった5月に3年生が修学旅行に行っている間、校外学習を行っていますので、それについても話を進めていきたいと思っております。次に、「きまり」の『学習』についてですが、両校の学習形態が違いますので、そのすり合わせをしていくことと、小学校からの要望もありますので、今後、検討していきたいと思っております。次に「部活動」ですが、平成25年度の部活動ですが、現在、丸山中・和田中にある部活動を継続していき、25年度は新たにはつukらないというのは、25年度は統合前ですので、それぞれ別の学校であり、新たにつukることは非常に困難を生じますのでつukらない。統合後の平成26年度の部活動については、現在両校にある部活動を基本として、さらに今後、検討していくということで、これは統合後、生徒数は増えますが、その後は減少していきますので、その人数を考えながら検討していきます。ただ、新1年生の部活については両校とも保護者の相談には乗りたいと考えています。本日、丸山中で入学説明会があり、保護者からの申し出もありましたので、これについてはまた検討していきたいと思っております。

事務局 ただ今、各専門部会から状況報告がありました。これに対する御質問があれば発言をお願いします。よろしいでしょうか。それでは、今後も専門部会で協議検討を進めていただき、協議内容等について随時報告をいただきたいと存じます。

## 5. 議事

事務局 これより、議事に入ります。今回は和田地区鈴木委員長に議長をお願いします。本日の傍聴人はおりませんのでお願いします。

議長 本日の出席委員数は、丸山地区が21名、和田地区22名です。両地区ともそれぞれ過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。それでは、第

1号「専門部会協議事項について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 第1号「専門部会協議事項について」ですが、それぞれの専門部会で協議検討を進めている中で、検討委員会としての判断が必要とされる案件がありましたら、各専門部会から、発言をお願いしたいと存じます。

議長 ただ今、第1号「専門部会協議事項について」事務局から報告のとおり、検討委員会で協議検討事項がありましたら、発言をお願いします。

委員 学用品部会ですが、制服については、アンケート調査までを学用品部会で行い、その結果を要望として学校側に提出し、学校側で決めてもらうこと。アンケート調査票は別紙のとおりとすること。アンケート調査の対象は、丸小、南小、南三原小、和田小の小学1年生から小学5年生の児童のいる家庭とすること。アンケート調査の時期は2月4日（月）から2月8日（金）までとし、各学校にアンケート調査票の配布や回収を依頼すること。ジャージ、体操服及び上履きの決定については学校側で決めてもらうこと。以上を協議願います。

議長 学用品部会からアンケート調査についての協議がありましたが、何か御意見ございますか。ないようでしたら、この原案で進めてよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 では、この原案で進めていただくということで、よろしく申し上げます。次に、第2号「校名案の決定について」を議題といたします。事務局から報告をお願いします。

事務局 第4回の検討委員会で、承認されました統合中学校の校名募集が1月10日で終了し、先日校名部会が開催されて、統合中学校名称の候補が決定したとの報告がございました。校名部会長から発言をお願いしたいと存じます。

議長 では、校名部会長よろしく申し上げます。

委員 先ほど簡単に申し上げましたが、資料2を御覧ください。123点の応募が寄せられていまして、その中から、「房総（ぼうそう）」、「御原（みはら）」、「嶺南（れいなん）」、「未来（みらい）」、「菜の花（なのはな）」、「第一（だいいち）」、「南総（なんそう）」、「安房第一（あわだいいち）」、「里見（さとみ）」、「南美花（みなみはな）」、「安房中央（あわちゅうおう）」、「花南（かなん）」、これを「かなみ」と読んではどうかという意見もありました。「中央（ちゅうおう）」、「安房南（あわみなみ）」の14点がまず選ばれて、それについて協議をいたしました。その中からさらに「御原」、「嶺南」、「菜の花」、「第一」、「安房第一」、「南美花」、「花南」の7点が残りました。残りました理由としまして、地区を表すもの、それから、「第一」、「安房第一」というように、ここの中心点のような意味を持つもの、あとは、花の地区ですから、何ととっても「花」という名前が入らないかということで、この7点が残りました。さらに、似

たような名前を寄せてみたり、あるいは、花の中ではどれがいいんだろうかというようにも考えながら、3点に選びました。ちなみに、応募者の中で一番意見が多かったのは「嶺南」です。私たちは初めから応募数が一番多いものを選ぶとは決めておりませんでした。結果として一番応募者の多い29人の方が「嶺南」という名前を推薦してくれました。その次に多かったのは「第一」で13名です。そのような状況の中から3点になりまして、3点を併記で検討委員会に出しても良いのではないかという御意見もありましたが、やはり、1点を選んで、検討してもらおうということになりましたので、ここに書いてあります「嶺南中学校」が第一候補になりました。「嶺南中学校」のコンセプトとしましては、1つには嶺岡山系の南に位置する両中学校の統合であること。以前、丸山・和田は合わせて、嶺南地区と呼ばれていたということがありまして、地域の人々に親しまれているのではないかと。それと、嶺岡山系にある千葉県最高峰の愛宕山のように高い目標を持って、南に広がる太平洋に広く、心豊かに育ててほしいという願いを込めて。実際に黒板に書いてみました。次に読んでみて、長かったり、読みづらかったり、中学校だから文字に重々しさがあつた方が良いのではないかと、実際に書いた字を見ながら順位をつけるということで、「嶺南」というところに落ち着きました。1名欠席で19名でしたが、半数以上の方が「嶺南」の意見に賛成しました。

議長 ありがとうございます。皆さん、何か御意見ございませんか。それでは、新中学の校名は「南房総市立嶺南中学校」としてよろしいでしょうか。承認いただけますか。

委員 異議なし。

議長 異議なしの声がありましたので、議第第2号は「嶺南中学校」で決定いたします。次に、第3号「意見具申(案)について」を議題といたします。事務局から何か報告がありますか。

事務局 第3号「意見具申(案)について」配付資料により説明します。まず、資料3を御覧ください。1枚目は鑑となりますが、丸山地区学校再編検討委員会委員長、和田地区学校再編検討委員会委員長から教育長に提出していただくということになります。2枚目からが「意見具申(案)」になります。この具申案につきましては、富山小学校の意見具申を参考として作成したものです。丸山地区と和田地区のそれぞれ平成24年度の検討委員さんの名前で意見具申をしていただくこととなります。3枚目を御覧ください。「協議結果及び要望事項」ですが、丸山中学校と和田中学校の再編は、丸山地区と和田地区の教育環境の向上が図られ、次代を担う子供たちの人間形成に資するものでなければならない。このことを踏まえ協議された内容を、次のとおりまとめるとともに、その実現に向け要望するものである。1. 再編時期に関する事項。再編の時期は、平成26

年4月1日とする。2. 中学校の位置に関する事項。校舎は、丸山中学校を使用する。3. 中学校の名称に関する事項。先ほど決定しましたが、校名は嶺南中学校とする。4. 生徒の通学に関する事項。通学の距離及び時間の延長による生徒の心身の負担を考慮し、安全で安心な通学ができるよう、スクールバス運行等により支援を図る。5. 校歌及び校章に関する事項。校歌及び校章は新たに作成する。6. 生徒の学用品に関する事項。保護者負担が極力少なくなるよう調整し、学用品類の統一を図る。7. 中学校の行事・授業等に関する事項。相互の学校行事を確認し、再編時期に向け課題の調整を図るとともに、スムーズな学校教育のスタートに向け推進を図る。8. P T A組織、活動等に関する事項。相互のP T A活動の実績を尊重し、会員の理解を得ながら再編期日に向け課題の調整を図る。9. 校舎の環境整備に関する事項。校舎施設は、統合に伴う必要な環境整備を要望する。10. 閉校に伴う記録保存に関する事項。閉校に伴う歴史資料の作成及び記録の保存・継承に際して、必要な措置が図られるよう要望する。11. 閉校施設等の活用に関する事項。施設・敷地の有効利用が積極的に行われるよう要望する。12. 周知に関する事項。丸山中学校と和田中学校の再編に係る各検討事項について、地区住民に周知を図ることを要望する。このような意見具申案としております。以上です。

議長 　ただ今、事務局から説明がありました。皆さん、何か質問等ございますか。

委員 　私は、これでよろしいかと思いますが、毎回のようにオブザーバーとして、市議会議員の皆様方に御出席をいただいているわけですので、具申までいったので、オブザーバーの皆様方から御助言をいただけたらと思うんですけど、いかがでしょう。

議長 　オブザーバーの方々の御意見をお聞きしたらどうでしょうかということですが、いかがでしょうか。オブザーバーの皆さん、何か御意見がございましたら、お聞かせ願いたいと思います。

オブザーバー 　決定しましたので、大変結構だと思います。

オブザーバー 　子供たちの安全安心を最優先に考えていただいて、多少、場所的にどちらに行こうが、それはそれで皆様方で決めていただければ良いと思います。

オブザーバー 　これだけの仕事を皆さんの努力により、まとめることができましたことを私も大変嬉しく思っております。東北地方へ支援に行った際、小学校が震災の被害を受けているところも見て参りました。それを思うと、やはり子供たちの安全安心を考えることが第一だと思いますので、そういうことも理解した中で場所等が決まってくるとは思いますが、よろしく願います。

オブザーバー 　議会に審議案件として上程される中で、判断をする上で、アンケートを実施しているということは、有益な情報になると思いますので非常に良いと思います。

オブザーバー 　私ども議員としましては、これから再編に当たって、南房総市の多くの予算

が教育関係に注がれるわけですので、丹念に精査した上で設計、建築にかかっていただきたいと思います。

オブザーバー 私も子供がおり、保護者としても関心を持って、皆さんの御意見を聞かせていただいています。毎回、忙しい中を多数の方が来てくださって、ありがたいと思っています。閉校後の学校についても有効活用できたらと思いながら、この席で聞いております。

議長 ありがとうございます。では、オブザーバーの方々のいろんな御意見等もお聞きしましたので、それをまた参考にして、各部会、この検討委員会も今後慎重に進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。他に何かございますか。

委員 この要望事項の中に防災に関することと申しますか、先ほど、生徒の安全安心という話がありましたが、広い意味で、要望事項の「9. 校舎の環境整備に関する事項」に入ってくる気がしないでもないですけど。例えば、房総沖の巨大地震が発生したときにどうするのか。あるいは、どういう方法で生徒の生命を守るのかということを考える必要があるのではないかと私は思います。東北の震災がありました。東北の日本海溝に比べて、房総沖の日本海溝は沖合200kmくらいで、東北の仙台に比べ、半分くらいの距離にあります。そんなことで、小学校の場所の検討の時に15m以上であれば安全だろうと、これは一応の目安で、もっと大きな巨大地震が発生することも十分あるわけです。そういったことも考慮して、この中にそういうものに対する対策というか、検討するというような事項を入れたらよろしいのではないかと思います。

議長 ちなみに今回の意見具申は中学の学校再編に係る意見具申でございますので、その中にも入れたらどうかということで、よろしいですか。

委員 そうです。

議長 今、防災に関する事項を追加したらどうかということですが、いかがでしょうか。

委員 お聞きしますが、統合中学校での防災とは具体的に何を指しているんですか。

委員 もちろん学校の耐震対策とか、校舎です。

委員 それはもう我々が手におえるようなレベルでなく、市で文科省あたりからの指示で、耐震化工事をやるとか、そういうことじゃないですかね。我々が、もっと強度を増してくれとかそういうレベルの話ですかね。

教育長 要望事項の「9. 校舎の環境整備に関する事項」ということが今、話題になっているかと思いますが、これは、統合に係る丸山中学校ですので、海拔や津波については問題ないですし、地滑りとかそういったものについても心配ないと思っています。私どもがこれから課題としなくてはいけないことは、要望事項の「4. 生徒の通学に関する事項」でスクールバス、自転車、あるいは徒歩



通学の通学方法にかかわらず、登下校の際の安全確保。登校中、あるいは下校中、スクールバスにおいてはどのような対応を取るか、あるいは自転車で通学している生徒については、登下校中、どのような安全対策を取っていくとか、こういったようなことが課題になってくるかと思っています。登校してきて、下校するまでの間については、通常、他の学校と違って、特に、これからいろんな防災教育、防災計画を講じて行きますけど、その中身でよろしいかなと考えております。これは訓練等で行っておりますが、万が一、本地区が津波等に襲われた場合、子供たちを家庭での安全確認ができるまで何日間か学校でお預かりする、そういう体制をつくっていく、あるいは、そういう施設面での整備をしていく。そういったようなことは課題だと思っております。したがって、委員から御指摘がありました、文書で書かれていても、書かれていなくても、今、申し上げた事柄は課題として、具体的に組み込んでいかなくてはならないと思っております。皆さんが念を押すために、今、私が申し上げたような内容に関して、防災とかそういった面で文言を入れるということでしたら、入れてくださっても結構です。入れても入れなくても、組み込んでいかなくてはならない課題だと思っております。

委員 丸山中の現在の校舎ができた時に防災の拠点になるような話も聞いたような覚えがあるんですが、その辺はどうなんですか。その辺も関係していると思うんですけど。そういった意味合いから、防災に関することを入れてみてはどうかと思ったわけです。

オブザーバー 丸山中の建設当時の話をしたいと思います。丸山中の建設当時は新潟地方の震災の影響があり、大きな建物をつくるので、地震については、非常に神経を遣っていたと思います。当初、丸山中学校の既存の施設、体育館とプールについて新中学校からも使える所ということで古い中学校から円にして400m以内の所につくろうということになりました。その中で地形とか、地盤的なものなどを考えて、今の西側の台地が良いということで決まりまして、建てた経緯がございます。ですから、地震に対しての備えというのは設計上、よく考えられていると思います。

議長 ありがとうございます。

教育長 補足しますと、中学校に関する意見具申ですので、特段、防災とかそういった観点で施設とか、そういったものを新たにということは必要はないのかなと思っております。この後、意見具申をいただくこととなります、保育所・幼稚園・小学校も文言を入れてくださらなくても、25年度から建設工事に入る富山幼保小中ですが、これは地域の広域避難場所としての機能を考えて計画を進めています。例えば、3階建てで、いざ避難場所となったときに車いすや歩行が大変な方のためにエレベーターをつけるとか、体育館に大勢の人が避難する

わけですが、病気とかで体育館での避難が無理な場合は3階に畳の部屋を、これを中学生の更衣室として普段は用意しておいて、いざ避難場所として活用する場合については、畳の敷いてある部屋で避難していただくとか、あるいは水の確保とか。そういったことについても、新しく建てる場合については広域避難場所としての機能を考えながら、設計・計画を進めておりますので、先ほど申し上げましたように、中学校については特段、今後新たに建てる小学校については十分配慮して参りますので、文言として、入れても入れなくても、私どももやっていくつもりでおりますので、その辺を踏まえて、皆さん方で最終的に決めていただければと思います。

議長 今、いろいろ意見が出ましたけれど、防災については加えなくとも、このままでよろしいということで御理解いただけますでしょうか。

委員 はい。

議長 では、他にないかございますか。何か付け加えたり、訂正しなければならぬような事項。御意見がなければ、この文言で意見具申を提出してよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 ありがとうございます。異議なしと認めます。次に、第4号「次回の合同会議の日程について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事務局 第4号の「次回の合同会議の日程について」ですが、2月のうちに1回行いたいと考えています。私ども、事務局といたしましては、今回、小学校候補地というものを提案しておりません。私ども、ちょっとまだ準備が整っていないんですが、できましたら、そういうことも踏まえて次回等にお時間を少し頂ければなというふうに考えております。それでは、次回の合同会議は、2月18日（月）ということでよろしいでしょうか。会場につきましては、この会場ということで御理解いただければと思います。

議長 それでは、次回の第7回合同会議ですが、2月18日（月）午後7時から丸山公民館2階大会議室ということで設定したいと思います。議事が終了しました。その他について、事務局から報告事項ございますか。

事務局 特にございませぬ。皆さんから何かございましたら、ここで発言していただければと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 一つ聞きたいのですが、先ほどスクールバスが何台か増えていくとありましたが、スクールバスの運転手の資格というのは、どんな基準で決めていますか。

事務局 大型の二種免許を持っている、一応定年としては65歳ということになっています。

委員 健康診断等はどの程度までやられているんですか。

事務局 市の直営のバスの運転手の場合は、健康診断は採用時とその後は各自で年1

回。民間委託している場合はその会社の方針になります。

委員 市としてスクールバスを運転する場合、どの程度までの健康管理をした上での採用なのかを聞いておきたいと思ひまして。

事務局 先ほど申し上げましたように、1年に1回、各自で健康診断を行ってもらひわけですが、その他にも、毎日のアルコールチェックや健康の点呼等を行っております。それでその日の運行はチェックしていくということになっています。

委員 我々も運転しますけれど、何でもない状況で突然、起きる場合もありますので、そういうのが怖いので。健康管理上の問題は、どこまで検査をして、よしとしているのか、お伺ひしたくて。

事務局 他によろしいですか。それでは、以上をもちまして丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第6回合同会議を閉会します。ありがとうございました。

(閉会)